

## 第50回佐倉市消費生活展に向けて



佐倉市消費生活展は、今回で節目となる50回を迎えます。第1回を開催して以降、自立した消費者を目指すため、消費生活に必要な情報と知識、問題点等をパネル展示等で市民の皆様へわかりやすくお伝えしていくイベントとして展開してきました。

今回、コロナ禍にあって、従来とは異なるパネル展示とチラシの配架という形での実施ですが、皆様に消費生活を取り巻く、昨今の話題を提供していこうとするものです。

さて、新型コロナウイルスの影響で、従来の消費活動にも変化がみられるようになっていきます。新型コロナウイルス発生当初は、マスクや消毒液の供給が需要に追いつかなかったため、インターネットでマスクを注文したが、品物が届かない。頼んだ覚えがないのにマスクが届き、法外な請求が届いたなどを手始めに、ワクチン接種の動きが始まると、公的負担で無料で接種できるにもかかわらず、お金を払えば優先して接種できる、といった話は、記憶に新しいところです。

その他にも、在宅での生活が多くなり、日ごろ使っていない日用品等を処分されるといった動きが多くなったことを背景に、押買いのトラブルも見られるようになりました。不用品の買い取りということで、業者が家庭を訪問するものの、不用品以外にもっと高価なものがあるだろう、と居座り、不要ではないものを安値で買いたたいていくという事例も見られています。

また、在宅での時間が増えたことで、資格取得のための勉強や副業をはじめようとする方が多くなり、インターネットを介して学びを深めようとする動きに乗じて、相当な講座受講料や手数料を取っておきながら、中身の薄い教材であったり、副業として全く儲からないばかりか、逆に更に出資を求められたりし、都合が悪くなると、連絡がつかなくなるなどの事例もあります。

さらに、対面での消費活動から、インターネットを介した消費活動に移行する中で、注文して代金も支払ったのに、品物が届かない。注文をしてお金を支払ったら、なぜか毎月届くようになり、定期購入だった。その定期購入も、なかなか解約ができない、といった相談も多くみられるようになっていきます。

こういった様々な手法も、コロナ禍にあるからというのではなく、従来からある手口で、それに新型コロナという筋書きに合わせて行われているという感じがしています。

新しい生活様式の中で、私たちも、消費生活における新しい生活様式を考え、賢い消費者になっていくことが求められています。